

## 中学 1 年校外研修 (2026. 4. 17 ~ 18)

本校の新入生には自宅生と寮生がおり、特に寮生は全国各地から集まっていることもあって、生徒たちの育った環境や価値観は多様です。そこで、生徒がお互いを知り、違いを認め合い、仲良くなることを目的として、毎年この時期に中学 1 年生を対象に、宿泊を伴う研修を行っています。

今年は新しい試みとして、徒歩で桜島の中腹にある湯之平展望所まで上がりました。4 月 17 日、生徒たちは学校からバスで出発し、桜島棧橋から桜島フェリーに乗船して対岸に渡ります。わずか 15 分ではありますが珍しい船旅に生徒たちのテンションは上がりました。到着した桜島港から標高 373m の展望所まで、歩いて 1 時間半あまり。生徒たちは私達が予想したよりもずいぶん早く展望所に到着し、そこでクラス毎に記念写真を撮りました。ここからは間近に桜島の偉容を望み、目を転ずれば錦江湾の向こう側に広がる鹿児島市内を一望できます。特に寮生諸君にとっては、鹿児島に来たことを実感できる体験となり、皆喜んでいました。

そこからバスで麓に下り、桜島熔岩なぎさ公園の芝生広場で昼食と休憩をとりました。ここには全長 100m という日本最大級の足湯があり、多くの生徒が赤褐色の天然温泉を楽しみました。

フェリーで市内に戻り、市内北部にある鹿児島市立少年自然の家へ向かいます。生徒たちがキビキビと動いてくれたおかげで、ゆとりを持って自然の家に到着できました。入所式の後、宿泊棟に入ります。一部屋に上下左右 7 人ずつ、つまりクラスの半分が一度に入ります。その部屋の造りに自宅生はもちろん寮生もみんな大喜びでした。夕食と入浴後、全員体育館に集合し、校長が用意したプログラムを皆で楽しみました。生徒たちはその中でお互いに自己紹介をしたりみんなでゲームをしたりして盛り上がり、自宅か寮かの違いのみならず、クラスの枠も越えてより多くの人と仲良くなったようです。

10 時の消灯の前には、全員が自分の布団に座り、壁に向かって姿勢を正し、今日を振り返る時間がありました。学年主任が放送を使って穏やかに語りかけ、生徒諸君は来し方行く末に思いを馳せました。それまで興奮気味だった生徒諸君は皆落ち着き、消灯後まもなく、どの部屋も静かに眠りに落ちていきました。

翌 4 月 18 日は 6 時に起床して片付けや掃除を行い、全員で広場に集合して朝のつどいに参加しました。ここで全員で集合写真を撮りました（下の写真）。

朝食後、所員の先生方に部屋の片付けをチェックしていただき、合格をもらった班から順次体育館に移動します。最後のプログラムは「オリエンテーリング」。地図とコンパスを頼りにポストを見つけ出し、そのポストにある字を記録します。ポストの見つけにくさに応じてポイントが設定され、班ごとにポイントの多寡を競います。かなり広い範囲を歩くことになるため、ポストを探しながらいろいろな話に花が咲いたようで、多くの生徒が楽しげに戻ってきました。

退所式後、バスに乗って学校に戻り、1 時過ぎに解散しました。

この 2 日間の体験を通じて、皆、新たな友達が増えました。そのことで新しい環境への不安がだいぶ解消されたようです。新入生の今後の活躍を楽しみにしています。





桜島フェリー内にて



湯之平展望所までもう一息 (a組)



展望所にて記念撮影 (b組)



熔岩なぎさ公園で足湯を楽しむ



鹿児島市立少年自然の家 宿泊室にて (c組)



校長プログラム



オリエンテーリング



退所式後に記念撮影 (d組)